

令和6年度 高山西商工会

会員実態調査カルテ集計結果 (R7.4.8)

調査概要

調査目的：会員の実情や意向に沿った的確かつ適切な経営指導をより一層進めるため

調査対象：高山西商工会員 316事業者（一之宮118、清見133、荘川65）

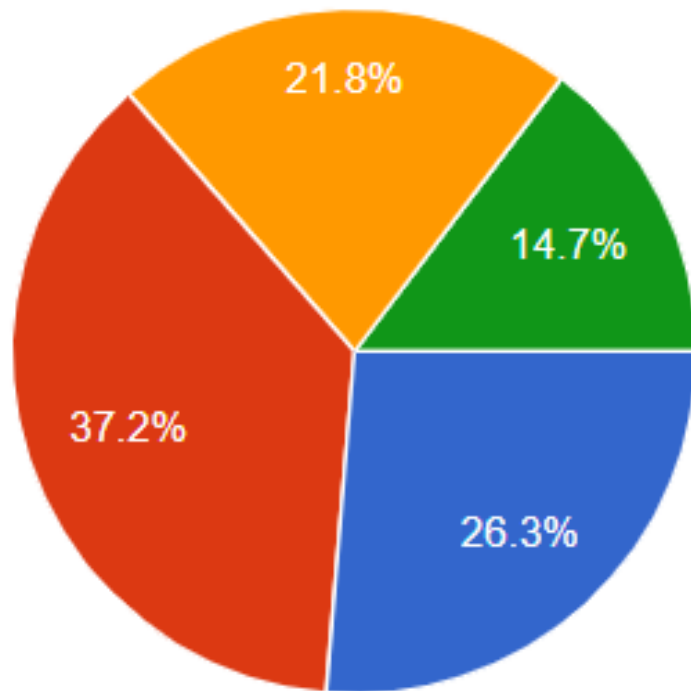
調査時期：令和6年11月～3月

回答件数：266件（回収率84.1%）

調査内容：事業所情報、代表者情報、今後の事業展望、

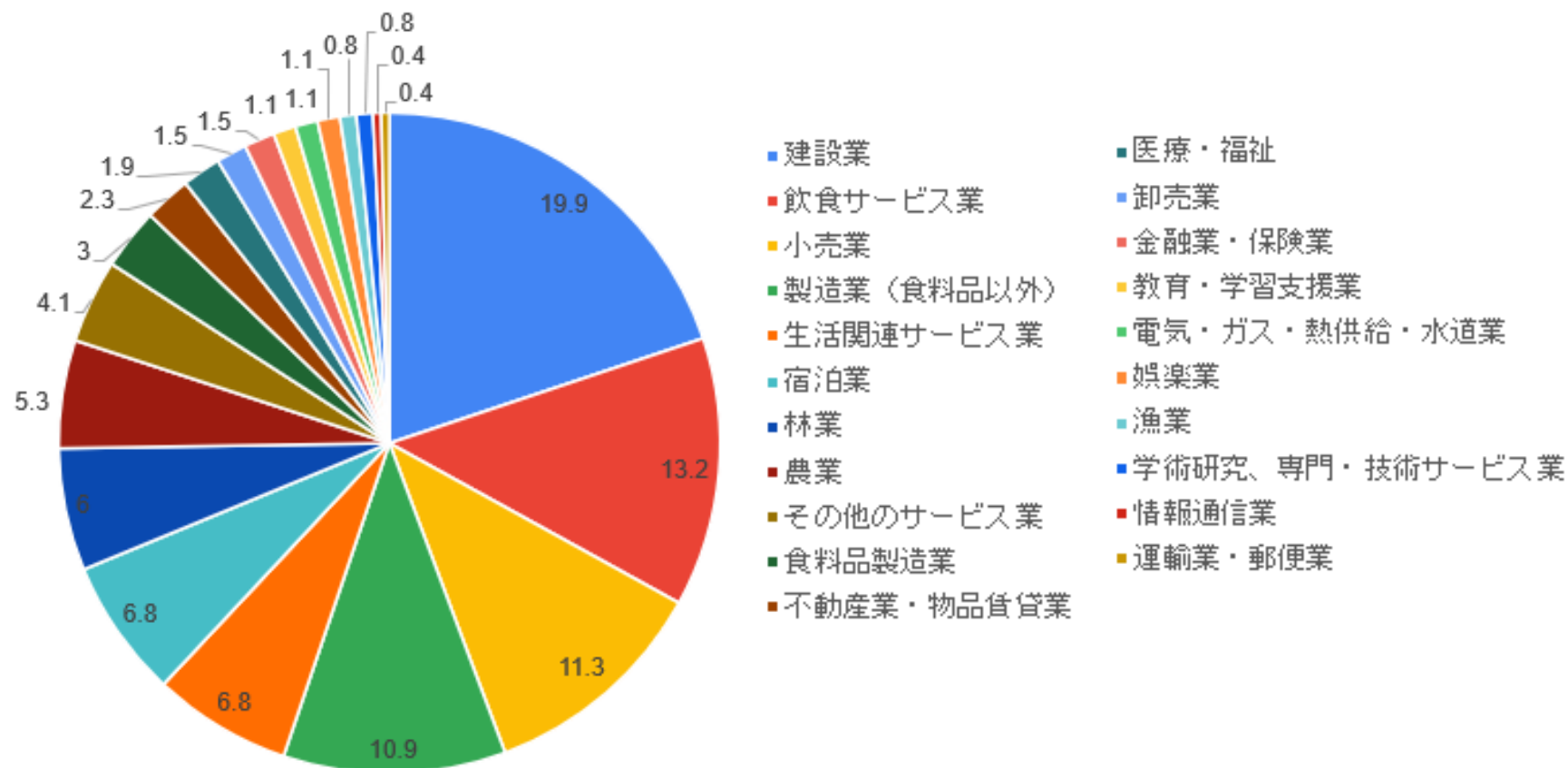
事業承継について、会員交流事業の希望調査、意見・要望

回答者の会員区分【総数266】

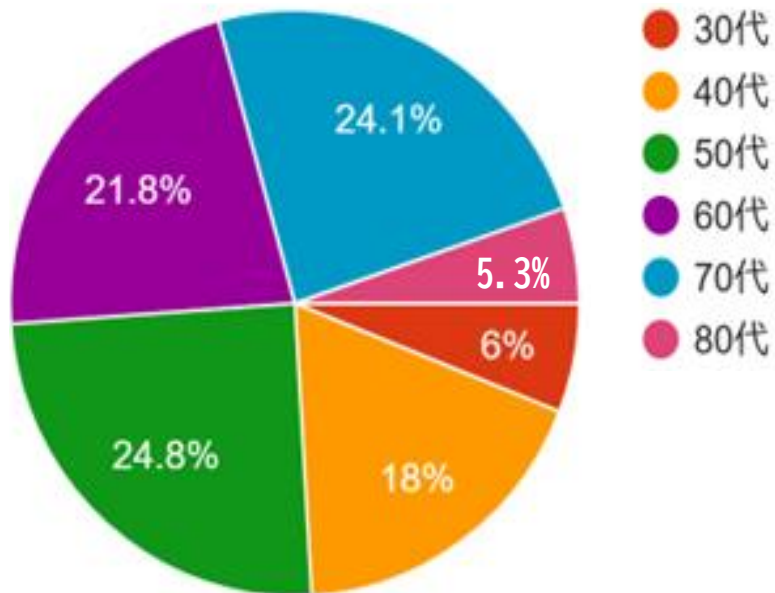


● 一之宮	・・・	70
● 清見	・・・	99
● 荘川	・・・	58
● 特別会員	・・・	39

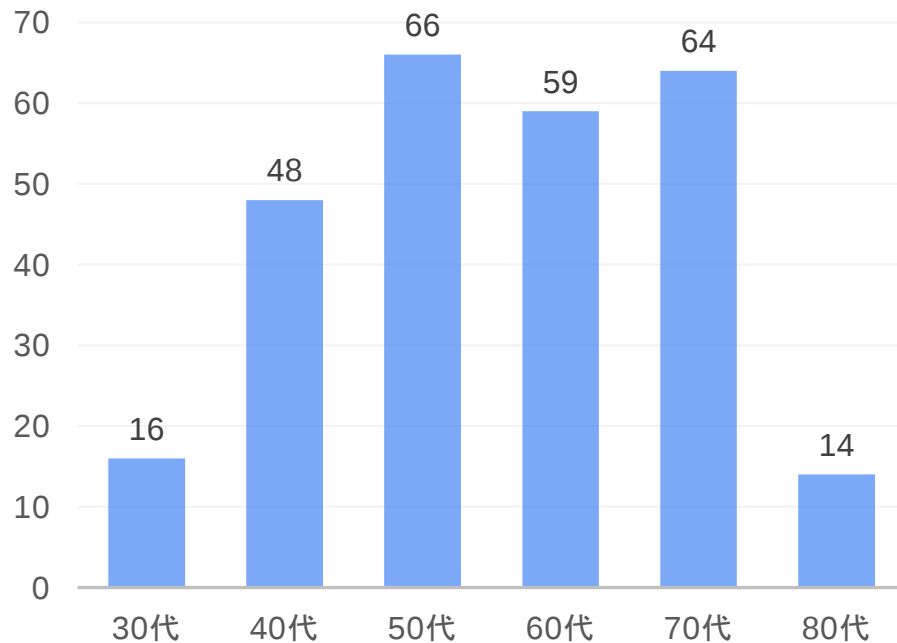
回答者の業種割合【総数266】



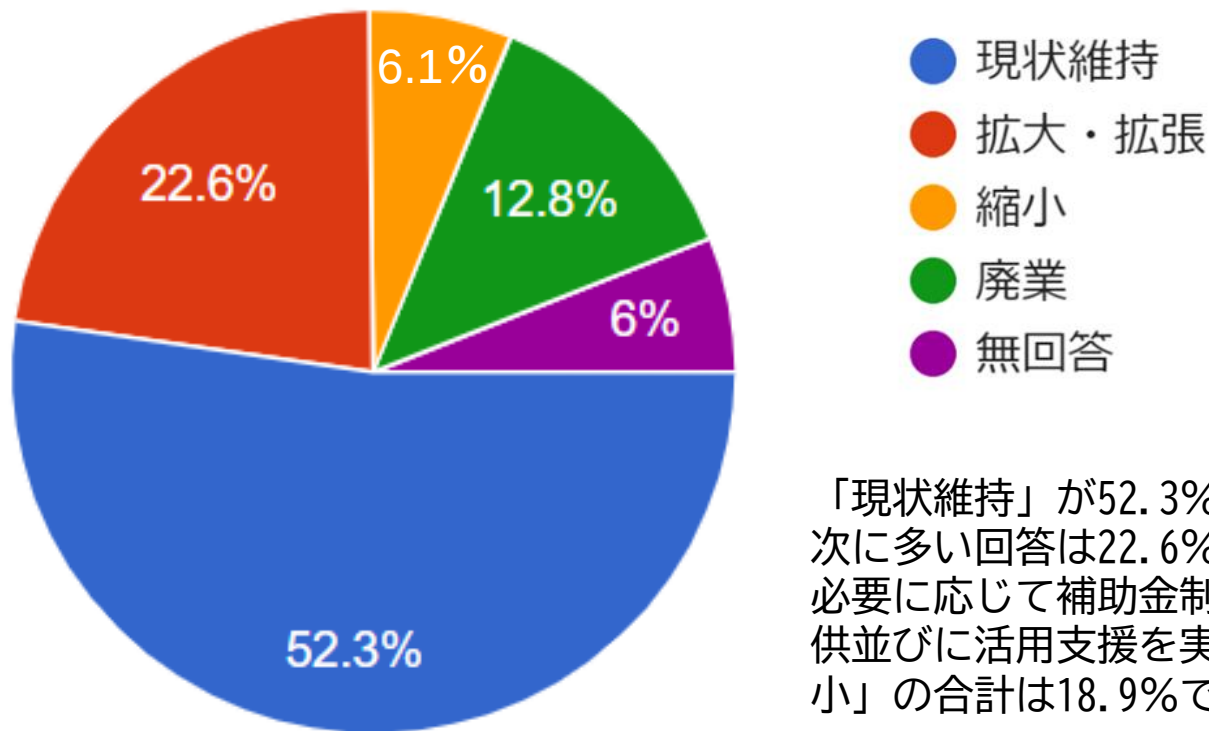
代表者年齢【総数266】



- ・最も多い年代は50代であり、70代、60代と続く。
- ・60代以上で全体の51.2%を占める。
- ・70代以上で全体の29.4%（約3割）を占める。



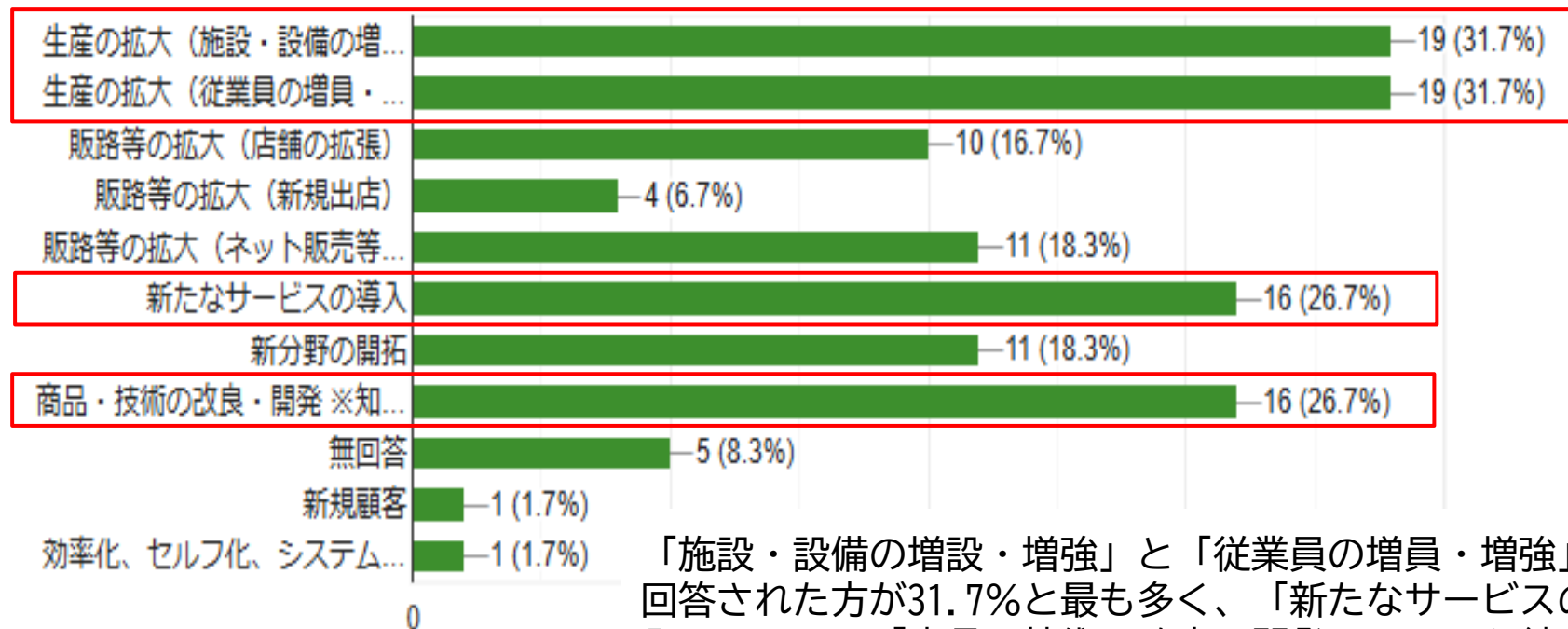
今後の事業展望・予定（概ね5年先までを想定）【総数266】



「現状維持」が52.3%と最も多い結果となった。次に多い回答は22.6%の「拡大・拡張」であり、必要に応じて補助金制度等の支援施策の情報提供並びに活用支援を実施する。「廃業」と「縮小」の合計は18.9%であった。

今後の事業展望・予定【回答者総数60】

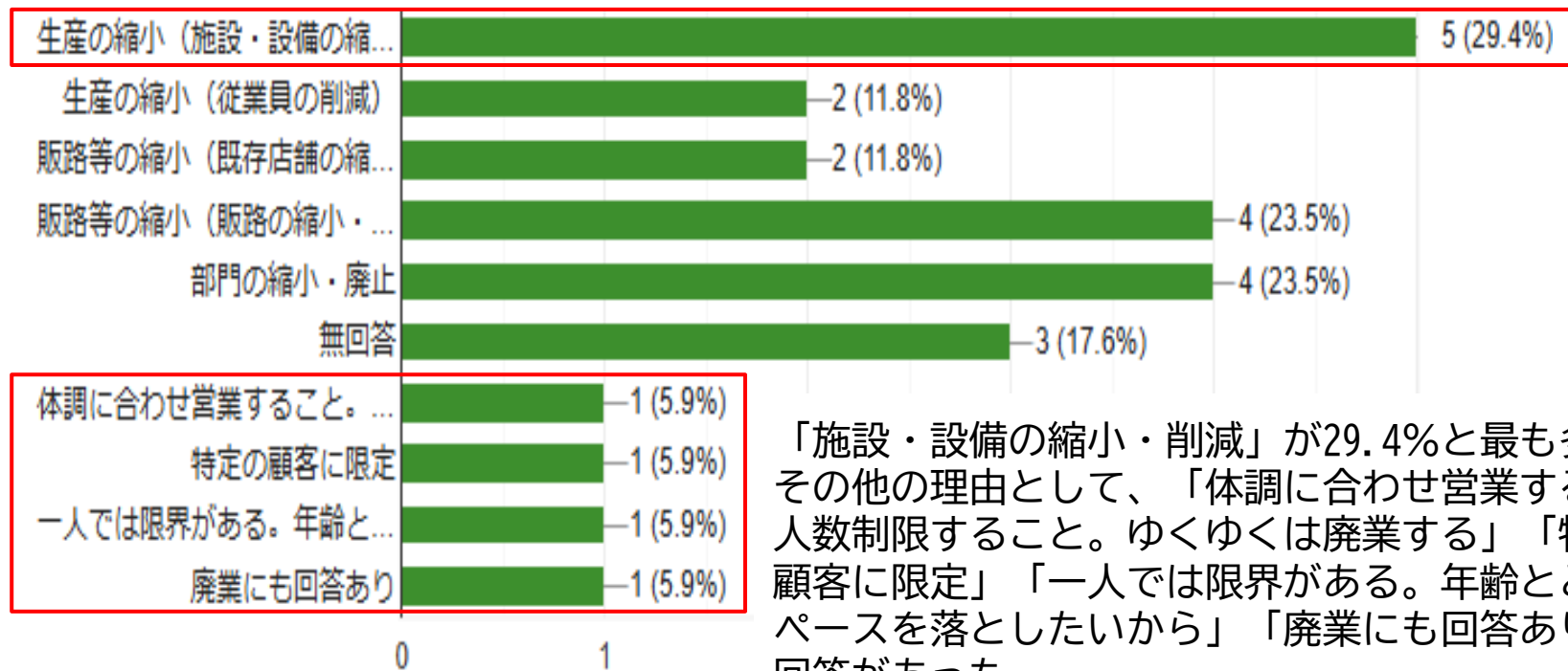
※「拡大・拡張」と回答された方のみ。複数選択可。



「施設・設備の増設・増強」と「従業員の増員・増強」と回答された方が31.7%と最も多く、「新たなサービスの導入」26.7%、「商品・技術の改良・開発」26.7%と続く。

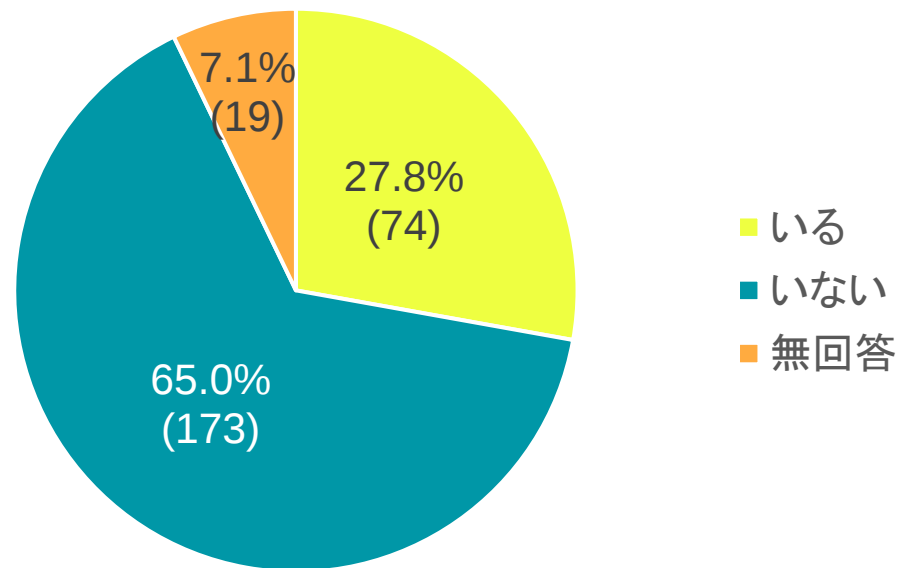
今後の事業展望・予定【回答者総数17】

※「縮小」と回答された方のみ。複数選択可。



「施設・設備の縮小・削減」が29.4%と最も多い。その他の理由として、「体調に合わせ営業すること。人数制限すること。ゆくゆくは廃業する」「特定の顧客に限定」「一人では限界がある。年齢とともにペースを落としたいから」「廃業にも回答あり」と回答があった。

後継者候補の有無について【総数266】

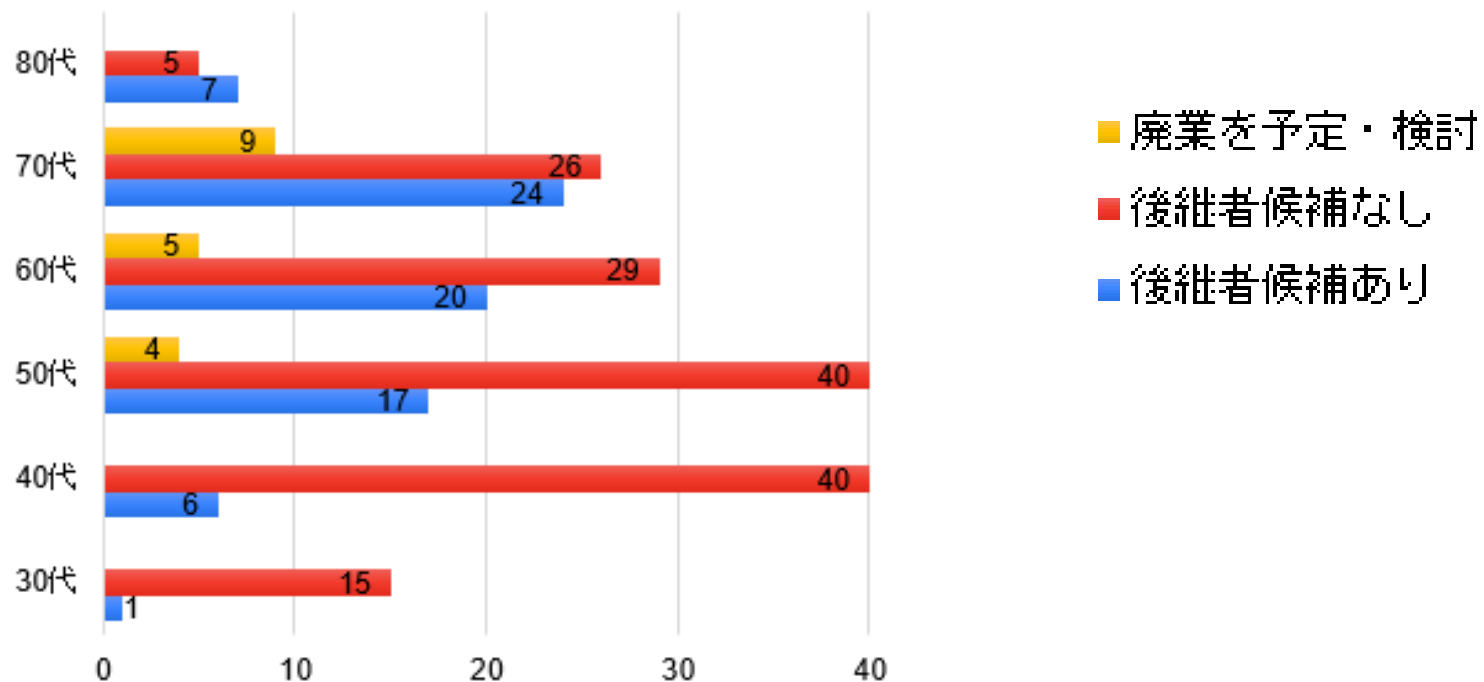


「後継者候補なし」回答された方が65%と、約7割の事業者が後継者がいない状況。

「後継者がいない」と答えたうちの4割の代表者が60代以上であった。

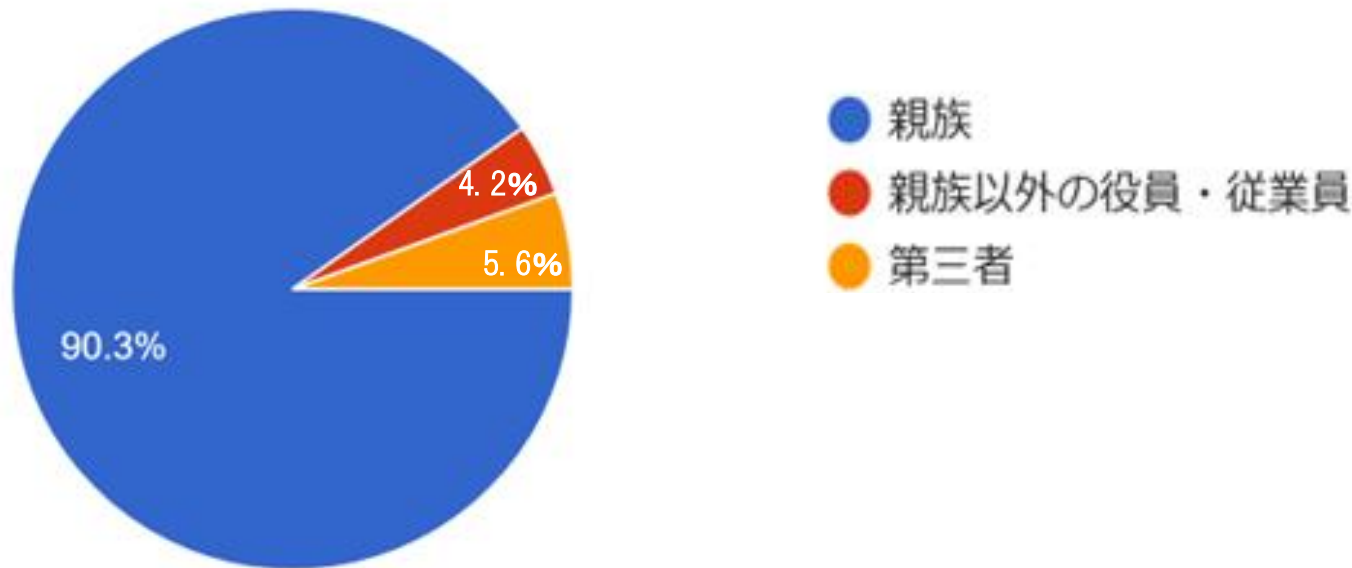
また、廃業予定の時期は最長で2029年、最短でアンケート調査時に廃業という回答であり、2年以内に廃業予定という回答は5件であった。

後継者有無と代表者の年齢について 【総数248】 ※無回答者除く



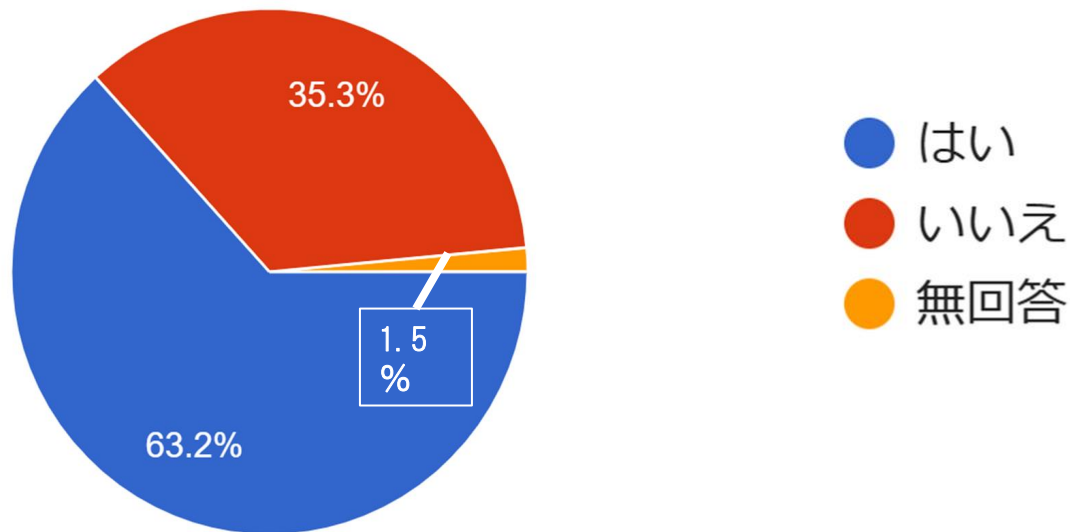
代表者の年齢が高齢になるほど、「後継者候補あり」の回答数が多くなっている。
また、「廃業を予定・検討」についても高齢になるほど多い傾向にある。

後継者はどなたか 【総数72：後継者あり】



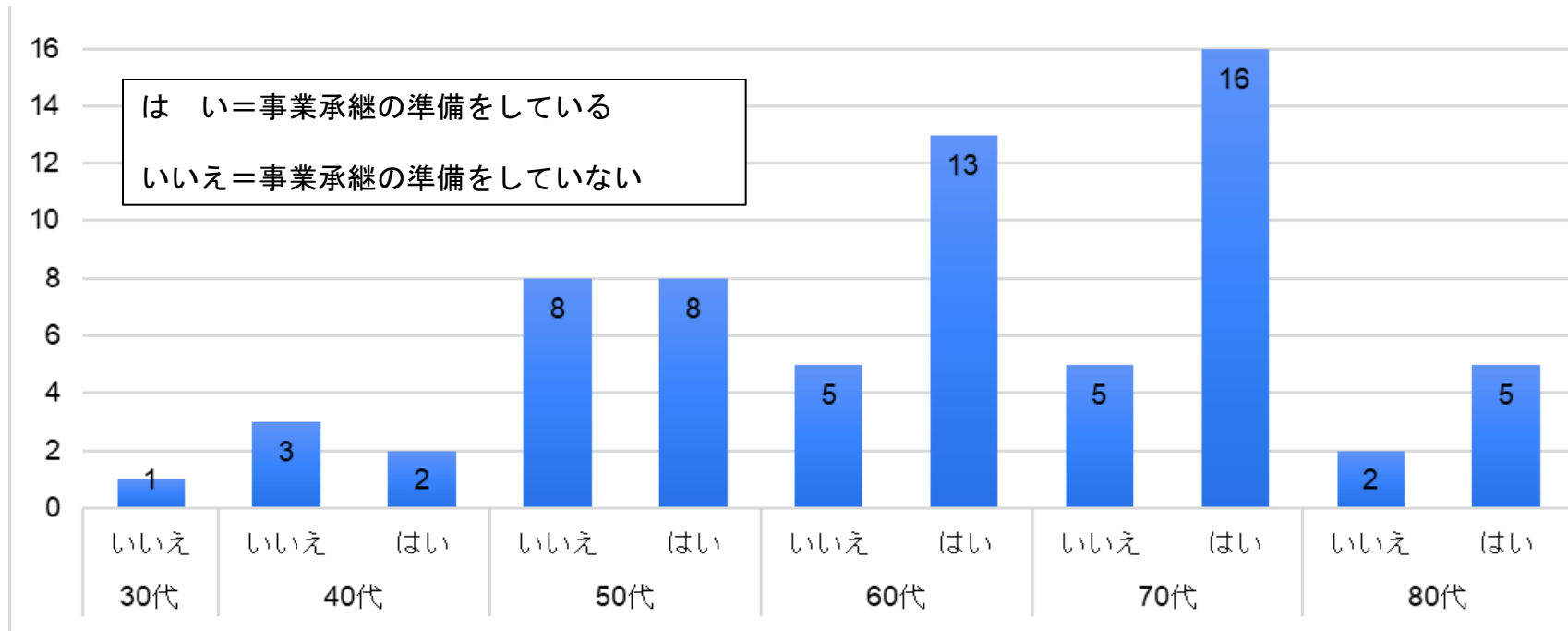
「後継者候補がいる」と回答した事業者のうち、90.3%は「親族」、4.2%は「親族以外の役員・従業員」、5.6%は「第三者」であった。このことから、事業承継においては親族内承継が圧倒的に多いことが分かる。また、後継者の了承状況については、約6割が「了承を得ている」と回答しており、一方で約3割は「まだ了承を得ていない」としている。

後継者の育成等の準備について 【総数68：後継者あり】



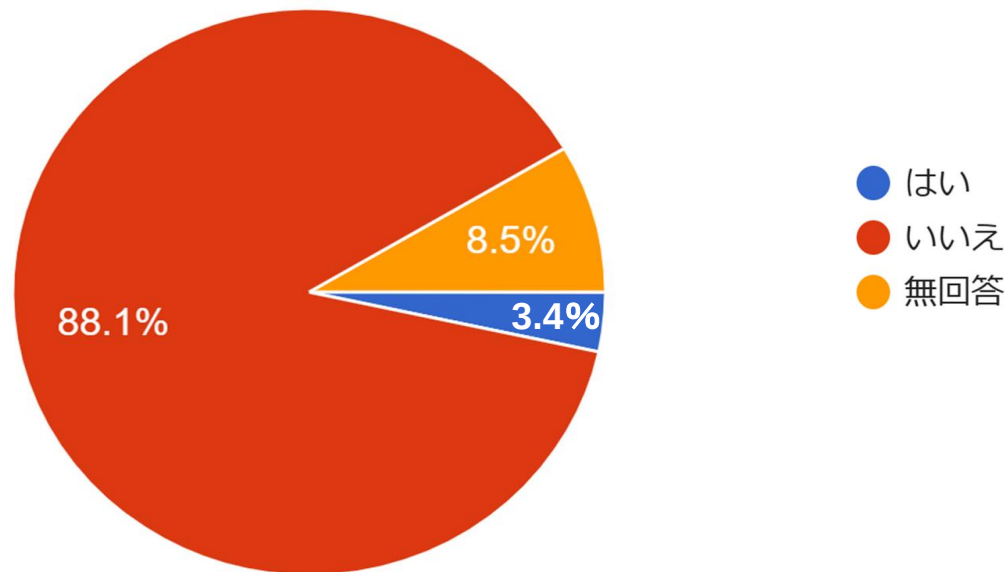
「後継者育成などの準備をしているか」との質問に対し、63.2%が「はい」と回答しており、後継者がいる事業者のうち半数以上が何らかの準備を進めていることが分かる。一方で、「後継者はいるが、準備はしていない」と回答した事業者も35.5%にのぼり、約4割が未だ準備に着手していない状況である。そのため、後継者への円滑な事業承継に向けて、どのような準備が必要か、また早期に取り組む重要性について、今後も継続的に周知していく必要がある。

事業承継の準備状況について 【総数68：後継者あり】



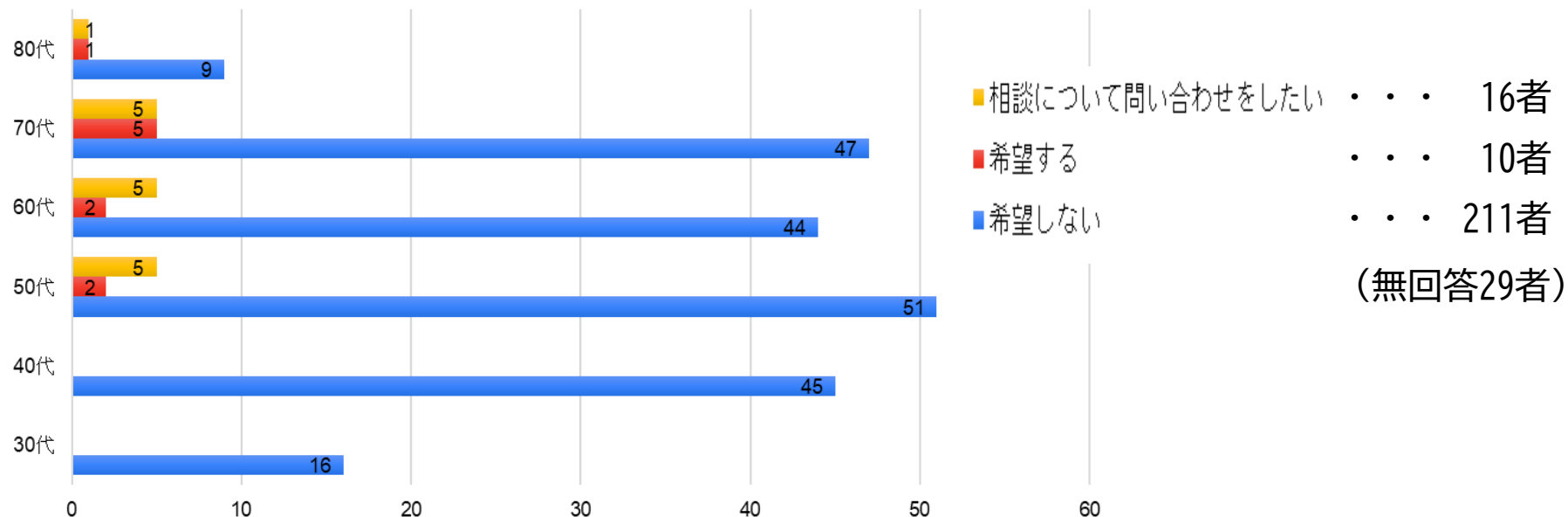
「後継者がいる」と回答した事業者の中で、事業承継の準備を行っていると答えた事業者を年代別で見ると、準備をしている事業者は多いが、70代・80代の代表者の中でも準備をしていない事業者もいるため、円滑な事業承継のためにも早期の準備を呼びかけていきたい。

売却先や譲渡先の候補はあるか【総数177：後継者なし】



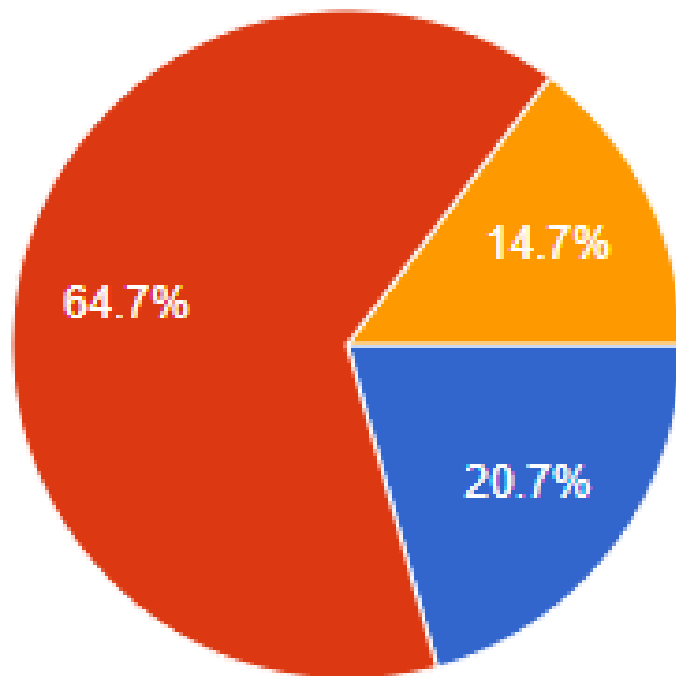
「候補者がいない」と回答した事業者のうち、事業の譲渡や売却を検討していると回答したのは3.4%にとどまり、1割にも満たない状況である。また、「事業売却や譲渡の候補はいない」と回答した事業者は約9割を占めており、そのうち約2割が70代以上の代表者であった。さらに、事業承継に関する相談先について、「有り」と回答した方は全体の5%に過ぎない。これらの結果から、支援機関の存在や各種支援施策について、より一層の周知が求められる。

相談希望と代表者の年代について【総数266】



年齢が高くなるにつれて、相談を希望する事業者の割合は増加する傾向が見られる。一方で、代表者の年齢が50代以上であっても、「相談を希望しない」と回答した事業者が依然として多数を占めている。そのため、今後も引き続き、事業承継の意義や支援メニューについて、丁寧な情報提供に努めていく必要がある。

会員交流事業の希望調査【総数266】



- 交流事業を希望する
- 交流事業を希望しない
- 無回答

「希望する」と回答した事業所は55者（20.7%）であったのに対し、「希望しない」との回答は172者（64.7%）にのぼり、希望しない事業者が大きく上回る結果となった。次ページには、「希望する」と回答した事業者から寄せられた交流事業の内容に関する意見をまとめているが、そもそも本事業の実施の是非について、今年度中に協議する予定である。

会員交流事業に対する意見・要望 ※順不同

- ・ 同業種との連携を希望
- ・ 他業種との連携を希望
- ・ 他業種との連携等
- ・ 他業種とのコラボ
- ・ 新規開拓と外注での連携を希望
- ・ 情報交流
- ・ 異業種交流会
- ・ 商工会員全員の集い等
- ・ 展示販売出来る業者、店舗を希望する
- ・ 異業種異年齢の交流は刺激があつてたまにはいいのではないかな
- ・ 他業種及び同業種との連携や交流を希望
- ・ 今、5年目にあたって大変な時なので、皆様どのようにやってみえるのか・・・
- ・ 同業者他業種と懇談することにより成長したい
- ・ 同じ地域で活動する人達が交流することにより、地域の活性をはかれる
- ・ 事業承継について、同業種とどのような考えをもってみえるか聞いてみたい
- ・ 取引先の新規開拓を希望
- ・ 食事会や飲み会等の懇親会など
- ・ 他業種との連携を希望する
- ・ 取引先の拡大
- ・ マルシェの開催など
- ・ 同業種との連携
- ・ 時間が合えば、いろいろな話を聞きたい
- ・ 旅行

意見・要望（自由記入欄）※順不同

- ・物価高騰により売上と支払いが伴っていない状態なので、どうしていいかと思っています
- ・自然消滅です
- ・店を休みにくく、出事が困難
- ・さるぼぼ折込み冊子の取組みは良かったと思います。これから少しずつでも、効果が出てくることを期待します
- ・医療・施術系の事業所でも使える補助金があるとうれしい
- ・人材の確保に苦勞しております。現在は外国人を起用してなんとかしておりますが、今後を考えると不安です
- ・人出不足 求人の応募が無い
- ・いつもありがとうございます
- ・集客の減少
- ・従業員不足・後継者無し
- ・下請け事業については現状維持、委託販売商品についてはホームページ作成等で販売を考えている

調査へのご協力、ありがとうございました。

会員事業者様の経営状況やお悩みを的確に把握するために
今後も定期的にこのような調査を行っていきたいと考えております。

その際は何卒ご協力くださいますようお願い申し上げます。

－ 高山西商工会 －